



ケアマネ みやざき



一般社団法人
宮崎県介護支援専門員協会
ケアマネみやざきNo.30
令和5年1月1日発行
発行責任者
担当理事 今別府大作

「会長挨拶」

介護保険制度が発足して今年で23年を迎えます。高齢者がサービスを選択するという契約制度で始まった介護保険制度も、高齢化や核家族化の進行を背景に国民の間に広く定着するまでになりました。介護支援専門員は専門職としての誇りと志を持って社会から信頼される存在として取り組んでいますが、近年地域包括ケアシステム構築の中で地域を支える担い手として社会から要請されて担う業務は介護保険の枠を超えて拡大してきています。介護支援専門員は「ケアマネジメント」を担う専門職として、居宅介護支援事業所のみならず、施設などさまざまな事業所で活躍していますが、今後、地域共生社会の実現に向け、高齢者の支援にとどまらず、障害や児童のケアマネジメントにも目を向け、職域を広げる活動も期待されています。

最近の「社会保障審議会介護保険部会」で議論となった中で、私たちケアマネに共通した関心事は、1) 利用者負担2割の対象者拡大、2) 要介護1、2の生活援助サービスなどの地域支援事業への移行、3) ケアマネジメントの利用者負担、4) 人材不足解消に向けた処遇改善、ICT機器の活用、「介護支援専門員の実践知の言語化」に関する事業などではないでしょうか。

厚生労働省は令和4年11月28日の「社会保障審議会介護保険部会」で、一部で行われている利用者負担2割の対象者を拡大する意向を示し、第9期介護保険事業計画期間が始まる2024年度に実施されることになりそうです。またBPSDの出現など認知症の悪化が顕著に表れることが多いために身体介護とあわせて生活援助サービスが一体的に提供されるべき要介護1・2の利用者への生活援助サービスなどの地域支援事業への移行は次の法改正では見送られました。さらに、ケアマネジメントの利用者負担導入も客観性・公平性・中立性の確保の困難や必要な介護サービスの利用控えなどから早期発見・対応の遅れが心配され、その結果、介護予防・自立支援へ向けた利用者に応じた多様なサービスによる支援などが阻害されることが懸念されることから見送りになりました。一方、深刻な人材不足に対して離職を防止し、魅力ある職種として認知されるように処遇を改善し、ICT機器等を活用した業務効率化により事務負担軽減をはかるなどの環境整備は極めて重要です。人材不足の真相を共有するためには、合格者ではなく介護支援専門員証更新者の中で実働する介護支援専門員をリアルタイムで把握すれば、実情に応じた養成対策の検討内容が明らかになるのではないのでしょうか。そこでJCMAが参画して取り組み始めた「介護支援専門員の実践知の言語化に関する事業」は、2016年6月の「ニッポン一億総活躍プラン（閣議決定）」に位置付けられ、10年計画でスタートした「適切なケアマネジメント手法」そのものです。介護支援専門員が長年にわたり、努力して蓄積してきた知識や思考方法は介護支援専門員全体にとって大切な財産であり、その重要な財産を言語化し、経験知として共有できるように整理された「適切なケアマネジメント手法」により、経験知の浅い介護支援専門員でも質が高く、平準化された手法の恩恵を受けることができることになると考えます。

私たちが介護保険制度を検証し改善するためには、JCMAが職能団体としての組織力を強固なものにして国に物申す必要があります。宮崎県介護支援専門員協会がまずJCMAを動かすためには、宮崎県介護支援専門員協会そのものが会員数を増やし、結果4人というJCMAの代議員数を現状維持することが生命線です。私たちは法改正や報酬改定の議論には常に敏感であり、根拠のある意見を出していく必要があります。会員の皆さまの声が国策に反映されるように努めて参りますので、令和5年もご指導、ご協力を賜りますようお願いいたします。



一般社団法人
宮崎県介護支援専門員協会
会長 牛谷義秀



宮崎県介護支援専門員研修向上委員会作業部会



令和4年9月27日（火）、JA・AZMホールにて宮崎県介護支援専門員研修向上委員会作業部会が参集して開催されました。研修向上委員会は、「利用者の尊厳を旨とした自立支援に資するケアマネジメントを実践できる介護支援専門員を養成すること」を目的に、研修の企画・実施・評価を行い、実効性の高い実施方策を検討するために設置されています。今回の作業部会では、新任介護支援専門員の資質向上に向けたカリキュラムの検討がなされ、ご参加された委員の皆さんから沢山のご意見をいただきました。その内容を踏まえ、令和5年2月に県北・県央・県南の3地区において研修会が開催されます。対象者の皆様はご参加のほどよろしく願いいたします。



令和4年度 宮崎県介護支援専門員協会 ブロック理事及び地域支部長合同会議



令和4年10月22日（土）にホテルマリックスとオンラインを併用したハイブリッド形式で、ブロック理事及び地域支部長合同会議が開催されました。

今回協議された内容としては、（1）会員入会状況（2）コロナ禍における地域活動の課題と今後として①会議、研修会の実施状況と地域内の連携の在り方について、②縮小や自粛によって閉塞している現状の打破に向けてなどの協議内容に沿って議論されました。

会員の入会状況についてコロナ禍以降会員数が減少傾向となっています。背景や今後の対応等について協議されました。またコロナ禍における地域活動の状況等についても協議され各地域支部において、状況を見て参集したり、オンラインを取り入れたりと継続的に活動できるように工夫されています。今後もブロックと連携しながら地域支部が安定的に活動を継続できる体制づくりを行っていくことが必要です。





令和4年度 施設ケアマネジャー研修会



令和4年10月29（土）と12月2日（金）にJA・AZMホールにて施設ケアマネジャー研修会が初級編、実践編の2部構成で開催され、当協会の大峯伸一副会長にご講義いただきました。介護保険施設における入所者の「その人らしい自立した生活の実現」のために、施設ケアマネジャーとしての存在意義や施設ケアマネジャーとしての専門性をどのように発揮するのか具体的に講義していただきました。また、施設ケアマネジャー同士の交流を踏まえて、自分自身を客観的に振り返ることで、専門職として新たな気づきにもつながったのではないのでしょうか。



新型コロナウイルス感染症に係る高齢者施設等への 応援職員派遣に伴う感染症対策研修会



令和4年12月15日（木）シーガイアコンベンションセンターにて開催されました。

高齢者施設等において利用者や職員に感染者が発生した場合、感染者である職員は、入院若しくは自宅療養又は宿泊療養、濃厚接触者である職員は自宅待機となり、事業所内での勤務体制の変更や同一法人内での職員の確保・調整等を行なってもなお職員が不足する場合は想定されます。このような場合に備え、応援職員派遣や代替サービスの提供が可能となるよう、個人及び事業所の皆様が宮崎県に登録しております。

今回、登録者を対象に、派遣時に備えて、高齢者施設における感染対策の考え方及び、防護服着脱等に関する内容で研修が実施されました。



ケアマネジメント・オンラインのご案内

国内最大級のケアマネジャー向け専門メディア「ケアマネジメント・オンライン」をご存知ですか。介護保険業務に役立つ業界の最新ニュースから介護現場で役立つ豆知識まで、幅広い情報を配信。ケアマネジャーの業務をサポートすることも目的としたサイトです。現在、全国10万人を超える会員がおり、宮崎県の会員は900名を越えています。

この度、ケアマネジメント・オンラインが提供する「CMOたより」を活用し、宮崎県の会員を対象とした情報発信サービスを開始しました。登録がお済でない方は、下記URLから会員登録をお願いします。登録は無料です。「ケアマネジメント・オンライン」(<https://www.caremanagement.jp>)

宮崎県介護支援専門員協会 LINE公式アカウントのご紹介

宮崎県介護支援専門員協会では、LINE公式アカウントを取得いたしました！日本介護支援専門員協会や当協会が主催する研修会等の案内など定期的に情報発信してまいります。

ぜひ、会員の皆様方も、右記のQRコードを読み取っていただきまして「友だち追加」してください！そして、最新情報を定期的に受け取っていただき、ケアマネ業務のサポートになれば幸いです。ぜひご活用ください！



ID @536ecuns

宮崎県介護支援専門員協会会員数の動向

令和4年12月現在の地域ブロックネットワーク別会員数

ブロックネットワーク別	正会員	準会員
宮崎・東諸県	612	12
小林・えびの・西諸県	93	0
西都・児湯	119	0
日南・串間	141	0
都城・北諸県	227	1
日向・東臼杵	137	0
延岡・西臼杵	160	1
合計	1489	14

令和4年度の介護支援専門員実務研修受講試験の合格発表が12月2日（金）にあり、宮崎県内において100名が合格されました。令和5年1月からは実務研修が開始されます。一人でも多くの方に入会していただけるよう声掛け等ご協力をよろしくお願いいたします！

編集後記

令和5年度は、第8期介護保険事業計画の最終年度になります。国においては、社会保障審議会等で様々な議論が進められています。今後は、関係団体へのヒアリング等を通して詳細な中身を詰めていく作業になっていくことと思います。特に私たち介護支援専門員に関連することについては注視していきたいですね。

さて、皆さんは令和5年どのような目標を掲げられたでしょうか。私も昨年を振り返りながら目標を定めて一年間取り組んで行きたいと思います。

皆さんにとって令和5年が「ブラボー！」な年になることを祈念いたします♪ 今別府大作